

建築学科			建築設計演習				
学年	第2学年	担当教員名	西澤 岳夫				
単位数・期間		5単位	通年	週当りの開講回数	2回	必修	履修単位
授業の目標と概要		住宅設計に必要な専門分野に関する基礎知識である、意匠、構造、法規を修得し、設計に応用する能力を身に付ける。 1/100スケールの木造住宅の設計図面を作図することができる。 様々な与条件を分析・総合し、設計課題である住宅建築をデザインする能力を身に付ける。					
		釧路高専目標	D:90%,F:10%		JABEE目標		
履修上の注意 (準備する用具・前提となる知識等)		製図道具(トレーシングペーパーを含む)を毎回持参すること。 テキストの第1章「木構造の設計製図」を十分に勉強しておくこと。 設計課題は通年で全3課題でいずれも構造は木造在来工法を前提とする。					
到達目標		住宅計画の基礎知識を設計デザインの現場で十分生かすことができる。 木造住宅の図面表現(配置図・平面図・立面図・断面図)が適切にできる。					
成績評価方法		設計製図課題(80%)+授業態度(20%) ただし、課題の点数配分は課題1題(10%)+課題2題(40%)+課題3題(50%)とする。					
テキスト・参考書		教科書:『建築設計製図』(検定教科書) 参考書:『コンパクト建築設計』(日本建築学会編) 『図解 木造建築入門』(井上書院)					
メッセージ		住宅計画に関する基礎知識を設計課題の問題解決に生かせるよう予習・復習を心掛けてほしい。 提出期限を厳守すること。					
授 業 内 容							
授業項目				授業項目ごとの達成目標			
・ガイダンス、住宅計画の概略(1回) ・木造住宅の基本計画(1回) [配置計画、平面計画、構造計画、意匠計画] ・住宅の各室計画(2回) ・法規に関する基礎知識と演習(1回) <課題1「木造住宅のトレースと設計」> ・トレース(10回)				住宅建築に関する基礎知識として意匠、構造、法規が理解でき、設計製図課題の問題解決へ応用することができる。 配置図、平面図、立面図、断面図等の各種図面の役割を理解した上で、正確にトレースすることができる。			
前期中間試験				実施しない			
<課題2「平家建て木造住宅の設計」> ・エスキス(8回) ・清書(7回)				課題の目的が理解でき、住宅計画に関する基礎知識を生かし、問題解決に向けて計画的にエスキスを進めることができる。 線種の違いによる意味の違いや、作図ルールを理解し、図面を完成することができる。			
前期期末試験				実施しない			
<課題3「木造2階建て住宅の設計」> ・エスキス(15回)				設計課題の主旨を理解し、問題解決にむけ、必要な資料収集ができ、設計の基本構想に応用できる。 木造住宅の設計手法に基づき、自分の意図する住宅の企画・構想を練りエスキスを完成することができる。			
後期中間試験				実施しない			
課題3「木造2階建て住宅の設計」のつづき ・清書(5回) ・模型製作(10回)				エスキスを基に1/100スケールの基本設計ができる。 設計した住宅を模型化(3D化)することで、建築空間に対する認識を深めることができる。			
後期期末試験				実施しない			